

薬剤師国家試験対策 「知識の横断的な活用」

病院や薬局など医療現場におけるチーム医療の中で薬剤師が職能を発揮して役割を果たすためには、薬学6年間で学修した各科目の知識を横断的に活用して、個々の患者さんのサポートに活かしていくことが求められます。例えば、糖尿病の患者さんをサポートするためには、糖代謝(生物)、血糖降下薬の

作用機序(薬理)、血糖値やHbA1cなど検査値(病態・薬物治療)、シックデイの対応(実務)など多くの知識が必要になります。そのため、近年の薬剤師国家試験では**科目の壁を超えた問題**など「**総合的な力**」や「**考える力**」を必要とする出題が多く見られます。最新の第106回国試を引用して、以下で紹介します。



猪又 雄太
薬理科目責任者



後藤 健太
病態・薬物治療
科目責任者



尾島 良太
法規・制度・倫理
科目責任

医学アカデミー
薬学ゼミナール

実践問題での出題例(薬理と実務をつなげる)

■第106回薬剤師国家試験 問264～265

本問は、免疫関連事象(irAE)に関する問題です。薬理では薬物の作用機序から想定される副作用を考え、実務ではその副作用への対策を提案する力が求められています。**ただ作用機序を覚えるだけでなく、それがどのように患者へ影響を与えるのかを、考えられるようにしましょう。**

問264～265

63歳男性。体重64 kg。左腎にがんを指摘され部分摘出術を受けた。その後、再発と骨転移、脾転移を認め、分子標的薬の投与が行われたものの再再発との評価を受け、先月よりニボルマブの単剤療法が開始された。

問264(実務)

ニボルマブの投与3回を経過した時点で1日6回以上の下痢、強い腹痛、発熱37.5℃以上、鮮血便を認めたため大腸内視鏡検査を実施したところ、消化管潰瘍の所見を認め潰瘍性大腸炎と診断された。初期治療に用いる薬剤として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 ペムブロリズマブ点滴静注
- 2 アダリムマブ皮下注
- 3 イピリムマブ点滴静注
- 4 ロペラミド塩酸塩錠
- 5 メチルプレドニゾロン錠

問265(薬理)

前問で選択した薬物の作用機序に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 ヘルパーT細胞内のカルシニューリンを阻害することで、インターロイキン-2の産生を低下させる。
- 2 アウエルバッハ神経叢のオピオイドμ受容体を刺激することで、アセチルコリンの遊離を抑制し、蠕動運動を抑制する。
- 3 T細胞の細胞傷害性Tリンパ球抗原-4(CTLA-4)に結合することで、T細胞の活性を維持する。
- 4 可溶性腫瘍壊死因子α(TNF-α)と結合することで、抗炎症作用を発揮する。

- 5 受容体との複合体が核内に移行し、糖質コルチコイド応答配列に結合することでタンパク質の生成を調節する。

<解答> 5 (問264)

<解答> 5 (問265)

横断的なアプローチ(薬理から実務へ)

今回の例題は、T細胞を活性化するニボルマブの副作用として、潰瘍性大腸炎を起こしてしまったという症例問題です。免疫機能が高まることで潰瘍性大腸炎が起こっていることを推定できると、その対処方法に免疫抑制作用や抗炎症作用を有する糖質コルチコイドの投与が有効であると考えることができます。

この例題以外でも、薬理では、「患者の症状から問題点を把握し、作用機序を考えて、適した治療薬の選択を行う」といった臨床への応用力が求められています。さらに、副作用に関する症例問題では、その副作用の原因を作用機序から推定し、対応方法を提案する力が求められています。

このように、**薬理学的視点を持って症例問題を解くことを心がける**ことで、問題解決能力を養うことができます。

実践問題での出題例(病態と実務をつなげる)

■第106回薬剤師国家試験 問290～291

本問は薬剤性間質性肺炎に関する問題です。症例の検査項目より患者に生じている副作用を推測し、その対処法について考える必要があります。そのため、副作用をただ暗記するのではなく、**それぞれの副作用でどのような検査所見が認められ、それに対してどのような処置が行われるのかを確認しておくことが重要です。**



私達は地域の健康情報発信拠点として
あらゆる事業に挑戦しています。



健康に関する情報など
各種情報を随時発信しています!



店舗特設ページ



関西薬局 KANSAI PHARMACY 大阪府・和歌山県にて12店舗を展開!
見学、お問合せはHPより随時受付しています。



共和メディカルグループ 本社：大阪府東大阪市若江西新町1-7-38
TEL：06-6224-6224
HP：https://kyowa-gr.jp/